



令和7年11月7日（金）第15号

北九州市立特別支援学校

北九州中央高等学園

文責 校長 谷 義久

後期産業現場等における実習

11月10日（月）～11月21日（金）

失敗を恐れずに挑戦（challenge）しよう！

いよいよ後期産業現場等における実習が開始されます。1年生にとっては初めての校外実習。2年生にとっては3回目、だんだん卒業後の進路が気になる実習になります。

後期になって皆さんに伝えていることは、「失敗を恐れずに挑戦しよう」ということです。「挑戦」をあらわす英語の【challenge（チャレンジ）】から「lle」を取ると、「変化」を表す【change（チェンジ）】となります。changeの「g」を「c」に変え、と「好機」をあらわす【chance（チャンス）】になります。

「挑戦」と「変化」と「好機」は英語で表すと似たもの同士です。挑戦してうまくいかないことがあったとしても、それは自分が学んで変化していく絶好の機会（好機）となるのです。

うまくいなくて失敗したと感じても、その経験から何を学び、どう生かすのかで、成長への教訓となります。失敗の経験は、

- ・次への挑戦の原動力になります。（変化）
- ・目標へ向けて取り組んだ証です
- ・次の成功に向けたタネです
- ・挑戦した証です
- ・学びのチャンス（好機）です

「うまくいかなかった（失敗した）。でも、できる努力はすべてやり切った。自分はよくやった」

「うまくいかなかった（失敗した）。でも、次に何をすればいいかを見つめることができた」

何事も、プラスにとらえましょう。そして、成長していく自分をイメージして、一步一步少しずつ行動していきましょう。

だんだんと、失敗から学び、人として一回り大きくなって成長していくことができるようになります。

うまくいかなかったこと（失敗）のもつ二つの意味

「挑戦の証」

「成長への糧を学ぶチャンス」

実習は、皆さんにとって挑戦するときです。

出発式で宣言した目標の達成に向けて、

2週間全力で挑戦してください。実習を

終えて、学校にもどったら、「全力でやり切った」「目標が達成でき

た」「次の成長に向けて新たな目標が見つかった」自分なりの

成果と課題を報告してください。

皆さんの挑戦と健闘を期待しています。



学校開放週間（10月20日（月）～10月31日（金））

学校開放週間が終わりました。アンケートをお願いしたところ、多数の回答が寄せられました。紙面の都合上、すべては紹介できませんが、いくつか紹介いたします。

○何人かの生徒さんとすれ違ったのですが、皆さんあいさつをきちんとしてくれていて、すごく感じのよい印象を受けました。現在は通常クラスで学んでいますが、少人数クラスで安心するイメージがわきました。

○生徒はとても生き生きとしていて、とてもよかったです。

○清掃活動がしっかりされていてすばらしかったです。生徒の挨拶がとても気持ちよかったです。

○生徒さんたちが落ち着いていてとてもよい雰囲気を感じました。礼儀正しいだけでなく、わたくしたちにも親切で明るく対応してくれてすばらしいと思いました。ある3年生の生徒さんに言葉使いや態度をほめましたら、「先生方のご指導のおかげです。」と笑顔で言われました。

○子供さん方が生き生きと自分の受け持った仕事をきちんとしている姿に感動致しました。

○とても良い挨拶が誰もができていて気持ちよかったです。掃除は1人でも黙々とされており、感心しました。

○生徒さんも先生も温かくて丁寧でとてもワクワクした気持ちになりました。とてもやさしく接してくださり、本当にありがとうございました!! 活動も目標も数学の授業も最高でした。

完売御礼！ 集中販売会へのご来校ありがとうございました。

10月31日に戸畑校舎で最後となる集中販売会を開催しました。朝から、気温が低く小雨の降る中多くの保護者、地域、関係者の皆様にご来校いただきました。1時間以上も前からご来校いただき、開始時刻を寒い中お待ちいただいた方もいらっしゃいました。ありがとうございました。生徒たちは、疲れたけど、達成感があったと語っていました。準備した製品は完売しました。

来年は新校舎での販売となります。場所は変わりますが、ぜひご来校ください。



